

狭山市地域スポーツクラブ 体制整備事業 保護者説明会

狭山市立西中学校 9/16・柏原中学校 9/17

株式会社オークスベストフィットネス



© 2025 OAKS BEST FITNESS.

Company

会社概要

会社名

(株) オークスベストフィットネス

ビジョン

- ・地域社会の健康を支える
- ・企業としての価値を創造し続ける

設立

1986年7月

従業員数

85名 (2025年4月現在)

本社所在地

千葉県佐倉市上志津1641-1

事業内容

- ・会員制総合フィットネスクラブの企画/運営
 - ・スポーツ用品、トレーニング機器販売
 - ・スポーツ関連施設のコンサルティング
 - ・公共スポーツ施設の運営企画及び受託事業
 - ・スポーツ指導者派遣事業
 - ・スポーツアスリート支援
 - ・溶岩ヨガ/鍼灸整骨院事業
 - ・部活動地域移行コーディネート事業
- 令和2年度よりサービス開始

狹山市における地域クラブ設立の基本意義

課題と背景理解

部活動を取巻く現状及び課題を整理

1

少子化による 単一部活動の活動の弊害

全国的に少子化が進んでおり、生徒数も1986年以降、一貫して減少している。とくに団体スポーツにおいては学年で10名を超える生徒の確保が難しくなっており学校単位での試合参加等が、非常に難しくなっている。

3

教員の部活負担による 授業内容の低下

部活動は時間が決まっている為、部活動が優先される。授業準備などは部活終了後に行われ、業務時間の負荷となっている。

2

経験のない部活動の指導 部活の質の低下防止

教員不足により指導経験がなく十分な知識を持っている顧問もほとんどいない現状。部活動の顧問を土日祝日もやりたいかという質問では20%～30%程度となっている。

(当社調べ 2024年度100校調査による)

4

教職員の過重労働

教職員の残業時間は平均40時間～60時間一番多い方では80時間という回答もありプライベート時間の確保が難しい現状がある。

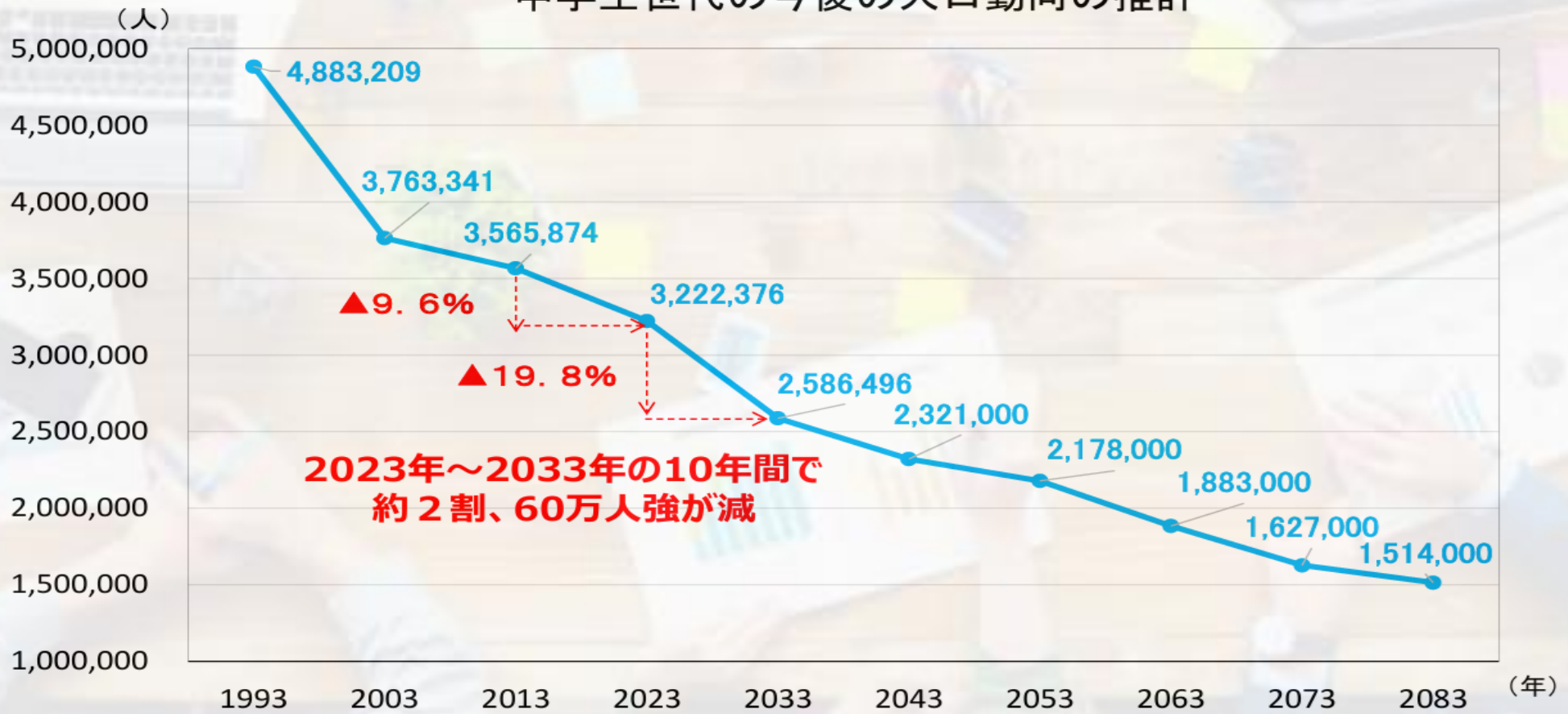
(当社調べ・スポーツ庁調べ同等)

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要



- 学校数の減少、それ以上に進む少子化で生徒数／学校はさらに小さくなる中、部活動は持続困難

中学生世代の今後の人口動向の推計



運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要



1. 運動部活動の意義と課題

※公立中学校等（義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程、特別支援学校中学部を含む）における運動部活動を対象

意義

- 生徒のスポーツに親しむ機会を確保。自主的・主体的な参加による活動を通じ、責任感・連帯感を涵養、自主性の育成にも寄与。
- 参加生徒の状況把握や問題行動の抑制。学校への信頼感、一体感や愛校心の醸成。

課題

- 近年、特に持続可能性という面で厳しさを増しており、中学校生徒数の減少が加速化するなど深刻な少子化が進行。
＜生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減、出生数：令和2年84万人＞
- 競技経験のない教師が指導せざるを得なかったり、休日も含めた運動部活動の指導が求められたりするなど、教師にとって大きな業務負担。
＜土日の部活動指導：平成18年度1時間6分→平成28年度2時間9分に倍増＞
- 地域では、スポーツ団体や指導者等と学校との連携・協働が十分ではない。

これまでの対応

- 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン（平成30年3月）
：学校と地域が協働・融合した形での地域におけるスポーツ環境整備を進める
- 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について（令和2年9月）
：令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図る
- 中教審や国会等：「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」旨指摘

運動部活動の地域移行に関する検討会議提言（令和4年6月6日）の概要



スポーツ庁

2. 目指す姿

目指す姿

- 少子化の中でも、将来にわたり我が国の子供たちがスポーツに継続して親しむことができる機会を確保。
このことは、学校の働き方改革を推進し、学校教育の質も向上。
- スポーツは、自発的な参画を通して「楽しさ」「喜び」を感じることに本質。
自己実現、活力ある社会と絆の強い社会創り。
部活動の意義の継承・発展、新しい価値の創出。
- 地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、子供たちの多様な体験機会を確保。（スポーツ団体等の組織化、指導者や施設の確保、複数種目等の活動も提供）

「地域展開」への名称変更

現行

地域移行

見直し

地域展開

変更の趣旨

- ①従来、学校内の人的・物的資源（学校の施設を含む）によって運営されてきた活動を広く

地域に開き、地域全体で支えていく

- ②地域に存在する人的・物的資源を活用しながら、地域全体で支えることで可能となる**新たな価値を創出し、**

より豊かで幅広い活動を目指していく

今後の改革の進め方

次期改革期間

中間評価

令和5年度～令和7年度
「改革推進期間」

令和8年度～令和10年度
「改革実行期間」
(前期)

令和11年度～令和13年度
「改革実行期間」
(後期)

休日

次期改革期間内に、**原則、全ての部活動において地域展開を実現**

- ※地域の実情等を踏まえつつ、できる限り前倒しでの実現を目指すことが望ましい
- ※現時点で着手していない地方公共団体においても、前期の間に、休日の地域展開等に着手
- ※中山間地域や離島など特殊な事情により地域展開に困難が伴う場合等には、国としてもきめ細かなサポートを通じて地域展開を後押し。それでも地域展開が困難な場合には、当面、部活動指導員の配置等を適切に実施。

平日

各種課題を解決しつつ、**更なる改革を推進**

国：活動の在り方や課題への対応策の検証を行う。
地方公共団体：地域の実情等に応じた取組を進める。

スポーツ庁主催 令和7年8月25・26日

部活動地域展開・地域クラブ活動の推進に向けた産官学連携フォーラム

部活動改革の理念

急激な少子化が進む中でも、
**将来にわたって生徒が継続的
にスポーツ・文化芸術に親し
む機会を確保・充実**するのが改
革の主目的である

学校単位で部活動として行われて
きたスポーツ・文化芸術活動を、
**地域全体で関係者が連携して
支え、生徒の豊かで幅広い活
動機会を保障**

狭山市における地域クラブの在り方とその構築について

01 参加者

西中、柏原中の生徒を想定 ※任意参加

02 実施主体

株式会社オークスベストフィットネス
※狭山市の部活動地域展開の運営を扱う団体

03 活動内容

特定の運動種目だけではなく、生徒がやりたい種目、やりたい活動が出来る事。誰もが参加できる環境を用意。生徒の状況に適した機会を確保。適切な活動日数や活動時間とする。

04 活動場所

既存の部活動で使用している**中学校のグラウンド・体育館・武道場**やスポーツ団体の施設や公共の運動施設の他、地域の体育施設なども積極的に活用
任意参加のクラブの為、活動場所への移動については各家庭での移動は求められる

05 構築方法

まずは休日を先行して進める。（平日の部活動との連携を踏まえて活動する）
活動スケジュールは学校・顧問などと連携し決定する

地域クラブ活動の詳細



01 活動期間

実証期間 令和7年度10月～令和7年12月

02 活動日

週1回程度（土日いずれか）月4回程度
1回あたり3時間 ※冬季長期休業中も同様
大会について当面部活動として参加。

03 活動場所

統合クラブとなるため、協議の上、決定する。

04 交通手段

基本はクラブ活動場所へ現地集合・解散。試合等は都度、学校集合、現地集合はクラブによる。活動場所までの移動は保護者の協力もいただく

05 用具・備品

用具・備品は基本学校のものを借用する。
また、備品の消耗度合によって最終的に補填なども考えていく

狭山市地域スポーツクラブ活動の流れ

- 01 申込開始 令和7年9月18日（木）より開始
- 02 申込方法 アプリケーション登録
また、学校側と協議の上、参加者確認させていただきます。
- 03 スケジュール 毎月20日過ぎに学校側と調整、25日あたりに翌月の日程をアプリで案内
- 04 費用等
今年度は狭山市実証事業の為、費用負担はございません。
但し、外部活動等の交通費など発生した場合は、各ご家庭にてご負担いただく場合がある
またその他のにおいては都度協議とする。
- 05 活動について 狭山市部活動ガイドラインを遵守すると共に、各校既定の規則に従うものとする

地域クラブポータルサイト



My Choice My Club

地域クラブジャパン



狭山市地域クラブに関するお問い合わせは
こちらからお願いいたします！

メールでの問い合わせ



地域クラブジャパン
問合せ先



電話での問い合わせ



よろずや
コールセンター

地域クラブ
専用コールセンター



043-375-5050

月～金 10:00 – 19:00 / 夜間：自動音声対応